



平成 30 年 7 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号：6264 東証第二部)
問合せ先 取締役管理本部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 30 年 6 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり平成 30 年 6 月度の月次受注残高を開示いたします。

記

1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	811	69.7%	3.3%	43.9%
F P D分野	344	29.6%	△4.4%	23.8%
その他分野	8	0.7%	△20.6%	△64.4%
合計	1,165	100.0%	0.7%	34.5%

2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	H29.7月	8月	9月	10月	11月	12月
半導体分野	539	551	567	552	655	646
F P D分野	318	268	258	283	213	229
その他分野	6	0	5	3	13	16
合計	864	820	831	839	882	892

区分	H30.1月	2月	3月	4月	5月	6月
半導体分野	730	774	788	814	785	811
F P D分野	306	311	323	362	360	344
その他分野	19	6	7	6	10	8
合計	1,056	1,092	1,119	1,183	1,156	1,165

3. 月次受注残高の概況

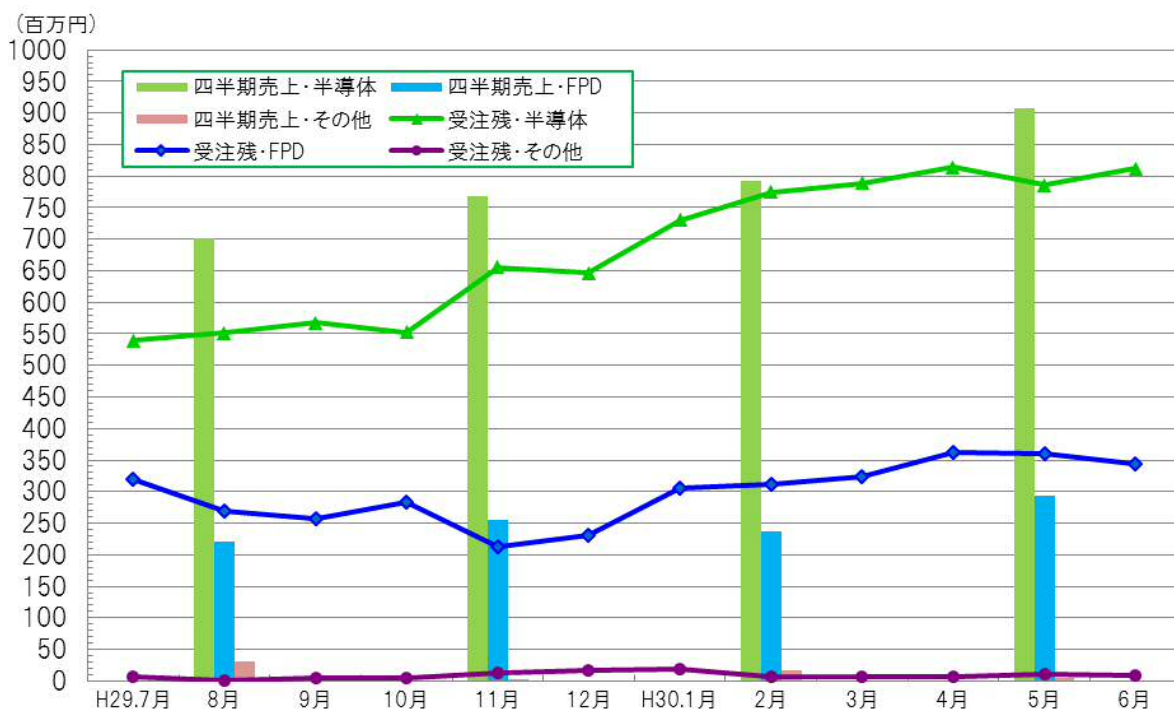
平成30年6月末の受注残高は、半導体分野においては、出荷検収は好調であった上、受注が高水準に推移したことから、対前月増減率は3.3%増、対前年同月増減率では43.9%増の811百万円となりました。FPD分野においては、出荷検収は順調に推移しながらも、受注において若干の調整があったことから、対前月増減率は4.4%減、対前年同月増減率では23.8%増の344百万円となりました。その他分野においては、おもだった動きはありませんでした。

これらの結果、平成30年6月末の受注残高は、対前月増減率0.7%増、対前年同月増減率34.5%増の1,165百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、半導体分野では、前月お知らせした当社前後工程の一時的な能力不足による影響は残りながらも、他顧客から新事業所（出水事業所）の設備増強による生産力拡大を見込んだ引き合いや試作品受注が増加しており、段階的に受注の拡大傾向は続く見込んでおります。また、いわゆる米中間の貿易戦争によって半導体市場は混乱しながらも、半導体製造装置市場につきましては、中国国内の設備投資の前倒しや、価格抑制に向けたDRAMメーカーの生産能力拡大などが予測されることから、前向きな見通しを持っております。今後も一部稼働を開始した出水事業所の生産スペース余力を活かし、継続的に設備投資を行いながら受注拡大を図ってまいります。FPD分野では、顧客の需要予測等によると、韓国向け設備投資の一部に延期の動きがでておりますが、中国向けの大型パネル投資が順調に進んでいることから、当社受注については比較的順調に推移する見通しを持っております。

以上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



- 注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。
- 注2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。